



まつえ湖南学園  
湖南中学校だより

☆第五十一回卒業証書授与式☆

三月七日、第五十一回の卒業証書授与式を無事に挙げてきましたこと、深く感謝申し上げます。式には、六名の学校運営協議会の委員の皆さまにもご出席いただき、卒業生の門出を祝っていただきました。また、多数の方々からご祝詞を賜りましたこと、お礼申し上げます。



【答辞】卒業生代表 森脇さん

長い冬を越え、校舎に差し込む柔らかな日差しに、確かな春の訪れを感じる頃となりました。積み重ねた三年間の思い出とともに、未来への決意を胸

に抱く今日このよき日、私たち一八二名はここから新たな一歩を踏み出そうとしています。

本日ご多忙の中、ご臨席を賜りました御来賓の皆様、先生方、保護者の皆様、在校生の皆さんに卒業生一同、式を無事に迎えられることを心から感謝申し上げます。

三年前の春、晴れ渡る青空のもと、私たちは入学式を迎えました。まだ少し大きかった制服に身を包み、期待と不安、そして緊張で胸をいっぱいにしていたあの日から、あつという間に三年の月日が流れました。一年生の頃から私たちは、とても賑やかな学年でした。元気があるといえば聞こえはいいかもしれませんが、周りが見えなくなってしまうこともあり、先生方や家族の皆さんにご心配をおかけする場面も少なくなかったと思います。その時の私たちは、自分たちの姿がどう見えているのか深く考える余裕がありませんでした。自分のことで精いっぱいだったからです。それが大きく変わったきっかけは、三年生の時の体育祭でした。体育祭の準備期間の中では意見がぶつかり合い、思い通りにいかない悔しさを感じることも多々ありました。それでも何度も話し合い、尊重し合い、少しずつ自分より周りを考えるようになっていききました。そのおかげでデコレーションも応援合戦も競技もそれぞれの組らしさが存分に表れ、一体感が増し、思い出に残る体育祭になりました。

部活動では、下級生をまとめながら仲間と声をかけ合い、ひとつの目標に向かって努力する大切さを学びました。そのおかげで例年以上の結果を残すことができたと思います。また、学校の部活だけでなく、クラブチームなどそれぞれの場所で挑戦を続けてきた仲間もいます。大会で勝った時の喜びも、負けた時の悔しさも、すべてが私たちを成長させてくれました。一人では乗り越えられなかった壁も、仲間とともに挑んだからこそ超えることができたのだと思います。

今、私たちは高校受験という大きな節目に立っています。合否がまだ分からない仲間もたくさんいます。不安がないと言えばうそになりませんが、それでも、この三年間で積み重ねてきた努力の日々は決して無駄ではないと信じています。結果がどうであれ、自分を信じ、最後まで胸を張って進んでいきます。



在校生の皆さん、皆さんのこれからの毎日は、あつという間に過ぎていきます。何気ない日常こそが、いつか振り返った時に一番輝く思い出になります。失敗を恐れず、仲間を大切にしてください。そして、自分の可能性を信じてください。そして、未熟だった私たちを見守り、信じ続けてくださった先生方。私たち

が今日、こうして笑顔で卒業式を迎えられるのは、先生方のご指導とご支援があったからこそです。これから私たちはそれぞれの新しい道へ進みます。先生方に教えていただいたことを胸に、困難に立ち向かい、挑戦を恐れず成長し続けていきます。本当にありがとうございます。

そして今日、この時を迎えることができたのは家族の皆さまのおかげです。私たちの悔しい思いも、うれしい思いもすべて受け止め、支えてくれたのが家族でした。毎日欠かさず作ってもらったごはん。何気なくかけてもらった「頑張つてね。」の一言。そして私たちのことを第一に支えてくれていたこと。私たちのためにしてくれていたことの一つ一つがどれほど私たちの力になっていったかによく気付きました。時には反抗してしまうこともありましたが、素直に「ありがとう。」と言えない日もありませんでした。家族を困らせてしまった日もたくさんありました。それでもどんなときも私たちが信じ、見守り、愛情を注いでもらったこと、本当に感謝しています。面と向かつては恥ずかしくて、いつも伝えることができなかったけれど、本当にこれまでの十五年間ありがとうございました。ほんの少し大人になった私たちを、これからもよろしくお願ひします。

最後にこの三年間



共に成長してきた仲間たち。一緒に学び、一緒に笑い、一緒に悔しさを分かちました。時には気づかり合ったこともあり放課後、何気ない休み時間、何気ない私たちにとって忘れられない大切な思い出となりました。当たり前だと思っていた時間は、振り返ればどれもかけがえない宝物です。

これから先、私たちは別々の道を歩みます。それでも、共に過ごした三年間が消えることはありません。うれしかったことも、悔しかったことも、すべてを分かちあつた仲間がいるという事実は、きつとこれからの人生の支えとなります。かけがえない素敵な仲間に出会えたことを私は誇りに思います。三年間本当にありがとう。

この三年間で得た経験と仲間が存在が私たちの背中を押しています。「いくつもの日々を越えて辿り着いた今があるからこそ、もう迷いません。栄光の架け橋へと私たちは進んでいきます。」

最後になりましたが、今日まで私たちを支え、導いてくださったすべての方々への感謝を忘れず、恩返しができるよう精一杯努力していくことを誓い、答辞とさせていただきます。



【送辞】在校生代表 岡本さん

寒さも日ごとやわらぎ、春の訪れを感じる季節となりました。本日卒業

式を迎えられた三年生の皆さんに、在校生を代表してお祝いを申しあげます。三年生の皆さんは、いつも私たちが在校生の憧れであり、目標であり、そして道を照らしてくださいる存在でした。多くの学校行事では常に中心となり私

たちを導いてくださいました。体育祭ではみんなが楽しく踊れるダンスを考えやさしく教えてくださり、応援がとても盛り上がりました。また全力で競技に挑む姿、成功に向かって一丸となる姿、その一つ一つは今でも鮮やかに脳裏に蘇ってくるほどです。

合唱コンクールのクラス一体となったハーモニーと三年生らしい迫力の歌声は、本当に素晴らしいものとして私たちの心に強く刻まれています。また部活動では最後の大会まで決して諦めることなく活動に打ち込まれ、その背中で私たちに「本気で取り組むことの大切さ。」を教えてくださいました。苦しい練習の中でも仲間と声を掛け合い支え合いながら努力を重ねる姿は、言葉以上に多くのことを私たちに教えてくださいました。

三年生の皆さんと過ごしたこのような時間は、私たちにとってかけがえない宝物です。私自身も、三年生の皆さんに何度も支えて



いただきました。学習や部活動でうまくいかず落ち込んでいた時に、たくさん先輩がかけてくださった「大丈夫

だよ。」という一言。その言葉は今でも私の心を温かくしてくれま

す。あの時感じた安心感とうまれてきた勇氣は、これから先もずっと忘れることにはありません。私も皆さんのように、誰かの力になれる人になりたいと心から思っています。

いよいよこれからは私たちがこの学校を引つ張っていく番です。正直に言えば、不安もあります。しかし、私たちには三年生の皆さんから受け継いだ思いがあります。その思いを胸に、掲げたスローガンが「雲外蒼天」です。この「雲外蒼天」という言葉は、私たちに勇氣を与えてくれる言葉だと考えています。空を覆う雲の向こうには、必ず青空が広がっているように、どんなに不安や困難があっても、その先には希望があると信じています。

この言葉は、三年生の姿そのものだったと感じています。思うようにいかなことがあっても、決して下を向かず、仲間とともにその先にある「蒼天」を目指して前へ進む姿を、私たちは何度も目にしてきました。これからの私たちには、時にはうまくいかないことや壁にぶつかることもあると思いますが、どんな時にも前を向き、仲間と一緒に乗り越えてこられた皆さんの姿は、私たちにとっての道しるべになってくれるに違いありません。

卒業という今日の日、別れの日でもあります。寂しさはありますが、それ

上に、皆さんの未来が輝くものになることを願う気持ちが大きいです。

これからの皆さんの人生の道のりにはきつと様々な挑戦が待っていることと思えます。しかし、皆さんなら大丈夫です。どうか自分を信じ、仲間を信じ、未来を信じて、一步一步自分らしく進んでいってください。

卒業生の皆さんのこれからのご多幸とご活躍を心よりお祈り申しあげ、送辞といたします。

【式辞】※抜粋

卒業証書を手にした百八十二名の皆さん、卒業おめでとう。

皆さんの三年間は、かつての「当たり前」が、

コロナ禍を経て、すべてが余儀なく見直しを図られる中、自分たちの手で「新しい形」へと進化させた日々の積み重ねでした。

二年生の修学旅行で見た景色、部活動の最後の大会やコンクールで見た「あきらめない姿」、そして体育祭や合唱コンクール、日々の生徒会活動での「創意工夫」。皆さんは、誰かに決められた枠組みの中だけで満足するのではなく、自ら考え、行動することで、この湖南中学校に新しい風を吹き込んでくれました。その「主体性」こそが、皆さんの最大の強みです。

皆さんがこれから飛び込む社会は、変化のスピードがさらに加速し、人工



知能・TVが生活のあらゆる場面に溶け込んだ世界です。昨日までの常識が、明日には通用しなくなることもあるでしょう。

そんな「不確実な時代」を生きる皆さんに、一つの言葉を贈ります。「正解を探すのではなく、選んだ道を正解にしていくこと」。

これからは、誰かが用意した答えを効率よく見つける力よりも、失敗を恐れずに挑戦し、たとえ壁にぶつかってもそこから学びを得て立ち上がる「レジリエンス」——すなわち、しなやかな強さが求められます。

デジタルで何でも完結できる時代だからこそ、実際に足を運び、自分の目で見て、誰かと直接語り合い、五感で感じた「生の実感」を大切にしてください。そのリアルな経験の積み重ねこそが、あなただけの唯一無二の人生を形作っていくのだと信じています。

これからも皆さんは、生徒会スローガンのごとく、勇気を持って一歩を踏み出す「チャレンジャーズ」であり続けてください。

卒業生の皆さん、皆さんの前には、まだ誰も見たことのない真っ白な地図が広がっています。自分自身の可能性に蓋をせず、広い世界へ勇気を持って踏み出してください。皆さんの歩む道が、光り輝くものであることを心から願ひ、式辞といたします。



### ☆☆卒業に向けて、在校生で準備☆☆

卒業式に向けて、一・二年生が卒業プロジェクトとして、放課後の時間等を使って秘かに活動しました。

放課後に、「掃除大作戦」と称して、卒業式当日の卒業生の移動通路になる昇降口から体育館、三年教室前廊下の掃除を、環境委員とボランティア生徒が一緒に取り組みました。

卒業式の朝、3年生にとって中学校生活最後の登校が、きれいな環境の中、気持ちよく校舎に入れるようにと頑張りました。



卒業式前日には、午前中に予行練習を行い、午後はいよいよ式場や三年教室等の会場準備や飾り付けに在校生全員が取り組みました。



最後の学活が終わり、校庭で在校生、卒業生からそれぞれエール交換があり、和やかな雰囲気の中、三年間過ごした学び舎を百八十二名の卒業生が、巣立っていききました。

入学時のあどけない姿とは違い、たくましくなった卒業生たち。四月からの新しいステージで、活躍されることを心から祈っています。

### ◆◆カンボジア交流◆◆

三月十二日、十三日に、二年生がカンボジアのサムダッチハイスクールの高校生とウェブ交流会を行いました。

この交流は、松江市教育委員会とAVLを派遣するインタラクティブ社が、生徒の英語力の向上、英語や異国文化への興味・関心を目的に市内中学校で初の試みを本校で行ったものです。

最初は緊張しながら交流が始まりましたが、英語を通して、お互い共通するゲームやアーティストの話題で盛り上がる場面もありました。



この経験をきっかけに、英語はもちろん異文化への興味・関心につながり、将来の夢や異文化交流等、様々なことに目を向けられ、考えが深まってくれることを期待しています。

### 【松江市学力調査の結果分析】

市学力調査(昨年十二月実施)結果を受け、分析や今後の学力向上に係る対応について裏面をご参照ください。

### 【四月当初の主な予定】

- 八日(水) 着任式、始業式
- 九日(木) 入学式
- 十日(金) 二・三年給食開始
- 二・三年身体測定
- 十三日(月) 一年給食開始・身体測定
- 二・三年学力テスト

### 【湖南中ホームページ】

普段の学校の様子や生徒の活動の様子をホームページに掲載しています。パソコンやスマートフォン、タブレットから左のQRコードを読み込むと湖南中ホームページをご覧いただけます。

ご覧いただきましたらご感想等、皆様からのお声をお待ちしています。



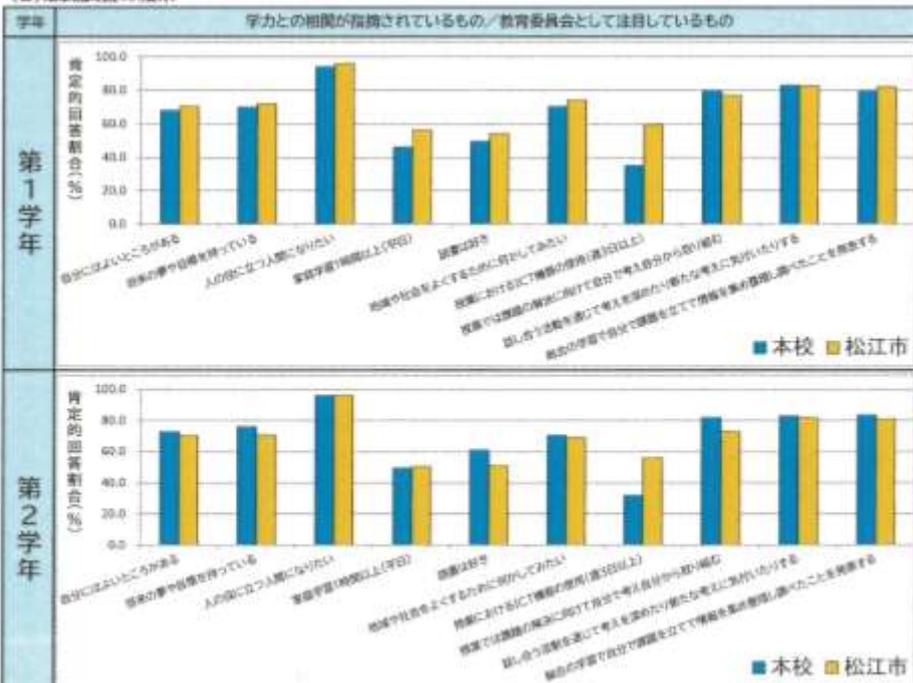
R7 松江市学力調査分析シート

【松江市立湖南中学校】

(1)教科調査の結果

| 学年   | 教科 | 分析(成果○/課題●)   | 改善策(・)  |
|------|----|---|---|
| 第1学年 | 国語 | 成果<br>○「書くこと」における「日常生活から題材を決め、集めた材料を整理している。」という観点において、推定全国値を約5ポイント上回っていた。また「書くこと」については他の活動に比べ取得ポイントが高い傾向がある。各単元においてまとまった文章を書くことに取り組んできた成果と考えられる。    | ・本文中の行動・会話・情景などの描写に線を引かせ、「どの表現からその心情を捉えたのか」を必ず書かせることで、理解が不十分な箇所を可視化する。<br>・ペア学習を通して、「どの描写からそう考えたのか」を互いに説明し合う時間を取り入れ、根拠を基にした読みの理解を深めていく。   |
|      |    | 課題<br>●「文学的な文章を読む」における「登場人物の心情について描写を基に捉えている。」が推定全国値を正答率が約18ポイント下回るなど「読むこと」に課題がある。  |   |
|      | 数学 | 成果<br>○「比例・反比例」の分野が推定全国値を上回っていた。座標の読み取りや関数関係を式で表すなどといった基本的な知識・技能は十分身につけている。   | ・途中式を書くことを徹底し、どこを十分に理解できていないかを可視化する。<br>・小テストや演習によって基本的な知識・技能を活用する力を身につけるようにする。<br>・ペア学習を通してお互いに説明する時間を取り入れ、理解を深めていく。   |
|      |    | 課題<br>●代入について理解し、式の値を正しく求めることに課題がある。<br>●分数をふくむ一次方程式を解くことに課題がある。  |   |
|      | 英語 | 成果<br>○文の語順を理解している生徒が多い。<br>○リスニングの技能においては、全体としては聞き取った内容を理解することができている。  | ・複数の技能を活用する活動を積極的に取り入れる。<br>・基礎・基本的な力をつける活動を取り入れる。<br>・自分のことを紹介する表現活動を多く取り入れる。  |
|      |    | 課題<br>●リスニングの技能においては、聞いた内容について適切に回答するなど、複数の技能を必要とする問題については課題がある。<br>●英文の読み取り問題で、資料からの読み取りなど発展的な問題について課題がある。   |   |
| 第2学年 | 国語 | 成果<br>○語句の敬語についての問題は推定全国値を上回っていた。<br>○文章の読み取りについて、文章の表現の効果について考えることにおいて推定全国値を上回っていた。  | ・「書くこと」について、単元ごとにまとまった自分の考えを文章で書く経験を積ませる。<br>・条件作文など、条件に沿って文章を書き、ペアやグループなどお互いの書いた文章を発表、推敲し合うことで文章を書くための書き方の型を身につけさせていく。<br>・お手本となる例文を示し、書く際の参考とさせると同時に書くことへの抵抗感を減らす。  |
|      |    | 課題<br>●「表現の効果を考えて描写し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している」の項目において22ポイント推定全国値を下回っているなど、文章を書くことに課題がある。   |   |
|      | 数学 | 成果<br>○「図形の性質」の分野が推定全国値を上回っていた。テストの時期に学習していたこともあるが、小テストの取り組みや反復して学習することで成果が表れたと考える。   | ・「式と計算」で、数学に必要な早く、簡単に、正確に計算していく練習を家庭学習でも取り組む。<br>・単元ごとでも振り返りや復習を含ながら単元をつらぬく課題に取り組んでいく。<br>・グループ学習に対する取り組み方を見直ししていく。<br>・教え合う時間と自分の考えを伝え、説明する時間をうまく活用していく。<br>・正解思考にとらわれず自由な発見や取り組みを認め、数学のおもしろさを伝え、意欲をあげていく。 |
|      |    | 課題<br>●「式の計算」をきちんと理解し、正確に取り組むことに課題がある。<br>●単元によって成果のばらつきに課題がある。   |   |
|      | 英語 | 成果<br>○リスニングの技能においては、全体としては聞き取った内容を理解することができている。<br>○英文の読み取りにおいては、概ね内容を理解することはできている。  | ・複数の技能を活用する活動を積極的に取り入れる。  |
|      |    | 課題<br>●リスニングの技能においては、聞いた内容について適切に回答するなど、複数の技能を必要とする問題については課題がある。<br>●英文の発展的な問題の読み取りにおいては、適切に回答する力が不十分である。また、概要を読み取る力が不十分である。<br>●場面に応じて表現する力に課題がある。 |   |

(2)意識調査の結果



<傾向と今後の対策・分析>  
 成果○: 強み/伸ばしたい点 について  
 課題●: 弱み/改善を要する点 について

【第1学年】  
 ○人の役に立つ人間になりたいと回答した生徒が多く、社会的な貢献志向が高いと感じる。そのため、学級活動や生徒会活動、地域連携を通してさらに育成していきたい。  
 ●家庭学習(毎日1時間以上)と回答した生徒の割合が低い。各教科だけでなく、家庭とも連携し、さらなる家庭学習習慣の形成に努めたい。

【第2学年】  
 ○人の役に立つ人間になりたいと回答した生徒が多く、自分だけでなく、周りのことも考えて生活していると感じた。  
 ○話し合いの活動が好きな生徒の割合が高い。  
 ●読書好きの生徒割合が低い。タブレットだけでなく図書館や図書資料の活用をしていきたい。

【R7学力調査受検者数】

|      |     |   |
|------|-----|---|
| 第1学年 | 136 | 名 |
| 第2学年 | 138 | 名 |

欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示